

令和6年度諏訪市地震総合防災訓練 中洲地区訓練概要(案)

1. 日 時：令和6年9月1日（日） 午前中
2. 訓練参加者：中洲地区
3. 訓練場所：（1）各地区の一次避難所
（2）広域避難所 諏訪南中学校
4. 訓練概要：南海トラフ地震を想定し、地震発生後に地区ごとの一次避難所での訓練を実施、その後、開設された広域避難所へ移動し避難所運営訓練を実施する。

5. 訓練の流れ

時間	想 定	訓練内容	参加者
7:10	臨時情報（巨大地震注意）	地震に備えての警戒態勢	地区役員等
7:30	南海トラフ地震発生	地区訓練（一次避難所開設訓練）	区民
8:45	広域避難所への移動	諏訪南中学校への移動	主会場訓練参加者
9:00	避難所生活	避難所内の施設を見学・体験	主会場訓練区民参加者 （体験希望区民も可） 災害協定締結団体等 市職員
10:00	避難所の運営	避難者による避難所運営訓練	主会場訓練区民参加者 市職員
10:45		閉会式	主会場訓練参加者全員
11:00		訓練終了	

6. 訓練詳細

（1）地区・自主防災組織役員等による地震に備えての警戒態勢

南海トラフ地震臨時情報での、巨大地震注意の情報により、地区・自主防災組織の役員等は警戒態勢として一次避難所に集合し、次のような対応をしてください。（例）

- ・一次避難所開設のための物品等の確認。
- ・施設内の家具等の固定確認、高いところの物品の移動等。
- ・区民台帳等の用意、要配慮者の確認。
- ・住民に対しての呼びかけ
（地震への備えの再確認、安全な防災行動、家族内の安否確認手段の徹底、等）
- ・地区内危険箇所（崖等）の見回り

（2）南海トラフ地震発生に伴う地区訓練

各地区にて一次避難所を開設し、地区の事情に合わせた訓練を実施してください。

（市職員も事前に伺い、地区訓練の様子を見させていただきます。）

地区の事情にもよりますが、実施していただきたい項目(例)は次のとおりです。

- ・避難、誘導訓練（要配慮者への対応含む）
- ・一次避難所開設訓練（施設安全確認、ライフライン確保、トイレ確保、物資の確認、利用室内の区分け、情報収集手段・通信手段の確立、等）
一次避難所の開設についての詳細は、8 参考資料をご覧ください。
- ・安否確認訓練（避難者カードの記入含む）
- ・地区内状況調査訓練
- ・初期消火訓練等災害対対応訓練

（３）広域避難所（諏訪南中学校）への移動

本訓練では、8 時に中洲地区に対し諏訪南中学校への避難指示が緊急速報メール等で行われます。8 時に避難指示は出ますが、そのまま各地区訓練を 8 時 45 分まで行っていただき、その後諏訪南中学校へ次のとおりにて移動願います。

- ・災害時は歩いての避難が主となりますが、本訓練では時間調整のため車両での移動をお願いします。移動の際は、慌てずに事故等に注意してご移動ください。
- ・諏訪南中学校では、誘導員の指示により駐車場所に駐車してください。
- ・駐車後は体育館玄関付近の受付にて受付を行ってください。

（４）避難所の施設見学・体験

市職員の誘導により、グループに分かれて避難所の施設内を見学・体験していただきます。主会場への参加が決められた区民の方以外でも、希望者はご一緒に見学、参加できます。現在予定している訓練は次のとおりです。

（数字は、「諏訪市地震総合防災訓練要領」内の訓練番号です。）

- ②情報収集訓練、③炊き出し訓練、④箱型・テント型仮設トイレ設置訓練、⑤給水訓練、⑥臨時電話・通信設備開設訓練、⑦非常時通信網開設訓練、⑧電源供給訓練、⑫防災グッズ展示、⑬土砂災害パネル展示、⑭広域避難所開設訓練

（５）広域避難所運営訓練

広域避難所は、長期化するほど避難者による運営が主となってきます。運営に関する説明を聞いていただきながら、実際に次の各班を編成して避難所の運営を行っていただきます。

班 名	役割分担	訓練時の実施内容	各地区の参加者数
総務統括班	総務	避難者名簿等、各種文書類の確認 屋内用防災ルーム等の取扱い	1 名以上
	情報・広報	情報収集・発信の仕方	1 名以上
生活環境班	衛生・生活環境の改善	簡易トイレ・トイレテントの設置	1 名以上
物資食事班	物資・食事の支援	物資運搬訓練、炊出し訓練	1 名以上
健康福祉班	健康・福祉	要配慮者移送訓練、応急手当訓練	2 名以上
	感染症対策	感染者用テント設営	2 名以上

※ 各地区からの参加者は 8 名以上を基本としますが、事前に各地区と調整いたします。

（６）閉会式

- ・主会場の訓練終了時に閉会式を行いますのでご参加ください。
- ・諏訪赤十字奉仕団による炊出しは閉会式時に配布します。

(7) 各訓練について

①一次避難所訓練	各地区にて、避難訓練・一次避難所開設訓練等を実施	訓練
②情報収集訓練	諏訪広域ドローン協力会の協力のもと、被災時のドローンによる情報収集を想定した訓練	見学
③炊き出し訓練	諏訪赤十字奉仕団による炊き出し訓練 物資食事班による配食訓練実施 避難所の食事体験として、炊き出しの実食	見学・体験
④箱型・テント型 仮設トイレ設置訓練	校舎内のトイレ不良、避難者に対するトイレの不足を想定し、屋外に箱型・テント型の仮設トイレを設置 生活環境班にて簡易トイレ等の設置訓練実施	見学・訓練
⑤給水訓練	市水道局による避難所における飲料水の給水所を開設 避難者は給水袋への給水・運搬の体験を行う	見学・体験
⑥臨時電話・ 通信設備開設訓練	東日本電信電話株式会社により、災害時の電話回線の混雑、使用不可の状況を想定した臨時電話の設置訓練	見学
⑦非常時通信網 開設訓練	衛星通信、クラウド PBX を活用した通話、W i - F i 等通信網の開設、運用訓練	見学
⑧電源供給訓練	電気自動車からの電源供給訓練	見学
⑨車両誘導訓練	諏訪警察署の指導の下、職員による車両誘導訓練	見学
⑩応急危険度判定訓練	建築士会による、避難所の危険度判定訓練	見学
⑪物資運搬訓練	コメリ災害対策センター協力により、車両での避難所への物資搬入訓練 物資食事班による、物資搬入の運搬訓練を実施	見学・訓練
⑫防災グッズ展示	防災時に役立つグッズや非常用持出品の展示・紹介	見学
⑬土砂災害パネル展示	諏訪建設事務所による過去の土砂災害事例の展示	見学
⑭広域避難所開設訓練	広域避難所の部屋割り等、配置や設置状況の見学 防災ルームや簡易ベッド等の体験 総務統括班による、防災ルーム等の取扱い訓練	見学・体験 訓練
⑮広域避難所運営訓練	運営に関する説明を聞きながら、避難所を運営する訓練	訓練
⑯福祉避難スペース 開設訓練	避難所の開設・運営訓練にあわせ、避難所内に福祉避難スペースを開設する訓練	見学
⑰医務室(保健室) 開設訓練	市保健班により、避難所内の傷病者を想定した医務室を開設する訓練	見学
⑱応急手当訓練	健康福祉班により、応急手当普及員会・消防署の指導のもと、A E Dほか応急手当全般に関する訓練 他に要配慮者移送訓練実施	訓練
⑲避難所・本部間通信 訓練	情報広報班によるオンラインでの通信訓練	訓練

7. その他

- ・会場は消毒液の配置、大型扇風機を使用した空気循環及び換気を行い、感染症対策に配慮する。
- ・当日、体調不良の場合、各訓練の参加予定者は各自の判断により参加を見送ってください。
- ・訓練参加者は汚れても問題ない動きやすい服装で参加してください。
- ・上履き用の運動靴（又はスリッパ等）をご持参ください。
- ・訓練中、貴重品は携行し、各自で管理を行うこと。

8. 参考資料

(1) 避難所開設チェック表（例）

チェック項目		チェック内容
<input type="checkbox"/>	①避難者の有無の確認、避難者の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者の有無を確認する。 ・開設準備中は、駐車場等での待機を呼びかける。雨天時・厳寒期は、改めて場所割りすることを前提に施設内へ誘導する。（ただし、施設の安全確認後とする）
<input type="checkbox"/>	②避難施設の安全確認	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水・洪水、土砂災害、火災等の二次災害のおそれがないか、建物周囲の安全性の確認（目視） ・建物が危険でないか点検する。 ・ガス漏れがないか確認する。 ・危険箇所には、張り紙やロープ等を張り表示する。 ・駐車場、および避難所周辺の道路状況の確認
<input type="checkbox"/>	③ライフライン使用可否（水道・電気等）	ライフラインの使用可否について確認する <ul style="list-style-type: none"> ・上水道、下水道 ・電気 ・電話 ・ガス ・放送設備
<input type="checkbox"/>	④水洗トイレの使用可否	<ul style="list-style-type: none"> ・排水ができないトイレは即座に封鎖する。（簡易トイレで代用） ・排水はできるが水が流れない場合は一時封鎖する。（トイレ用水を確保してから使用開始する。）
<input type="checkbox"/>	③機材、物資の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄倉庫 ・運営用備品 （物品が不足していたら、市の補助金を利用し整備してゆく）
<input type="checkbox"/>	④利用室内の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の利用範囲を確認し、室名・注意事項等の張り紙をする。 ・使用禁止範囲には「使用禁止」の張り紙やロープ等を張る。 ・机、いす等の片付けや破損物等の有無の確認を行い、利用室内の安全性の確認を行う。 ・下履きと上履きの境を明確化する。
<input type="checkbox"/>	⑤情報収集手段の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビを設置する。テレビが設置できない場合はラジオを設置する。 ※原則、テレビは NHK 総合、ラジオは NHK 第1(1584KHz) 又は、LCV-FM 臨時災害放送局(76.9MHz)とする。 ・特設公衆電話の設置及び通信確認。 ・パソコンのネットワークを確認する。
<input type="checkbox"/>	⑥受付の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・受付の設置場所 ⇒ 長机、いす、筆記用具、消毒用品等の準備 ・避難者名簿等の準備 ・受付付近に避難所利用範囲、施設利用ルール等を明示する。
<input type="checkbox"/>	⑦避難所看板設置	<ul style="list-style-type: none"> ・門、施設扉付近に避難所表示看板を設置する。

※ 避難所の開設については、「諏訪市広域避難所等開設マニュアル」を参考にしてください。（マニュアルはホームページでご覧いただけます。）

※ 同様に避難所の運営については、「諏訪市広域避難所等運営マニュアル」をご覧ください。今回の訓練内の広域避難所運営訓練も、このマニュアルに沿って行います。

(2) 避難所について

① 一次避難所

- ・災害発生のおそれがある場合に、差し当たりの安全を確保する場所又は施設。
- ・諏訪市では指定されている地区公民館等がこれにあたります。
- ・一次避難所の開設、運営は原則地区の判断で実施されます。

② 広域避難所（指定緊急避難場所）

- ・災害の危険が切迫した緊急時に、安全を確保する場所又は施設
- ・中洲地区では、中洲小学校、諏訪南中学校、中洲公民館、博物館が該当となります。
- ・余震の影響も含め、建物の安全確認ができていない場合は、これらの施設のグラウンドや駐車場が避難場所となります。

③ 広域避難所（指定避難所）

- ・災害が発生した後に、自宅で生活できない被災者が一定期間避難生活する施設
- ・災害の種類や規模、施設の状況により、災害対策本部が広域避難所を開設します。
- ・避難指示等が出た場合でも、すべての広域避難所が開設されるわけではありません。
- ・開設された広域避難所は、防災行政無線、防災メール、市のホームページやライン等でお知らせしますので、開設された避難所を確認し避難してください。

④ 福祉避難所

- ・広域避難所の福祉スペースでの生活が困難な特に配慮を要する方のための避難所です。
- ・全ての要配慮者の方が入れるわけではありませんので、ご注意ください。

(3) 南海トラフ地震臨時情報について

気象庁は、南海トラフ沿いで地震等の異常な現象が観測された場合、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した旨の「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」を発表します。その結果、マグニチュード 8.0 以上と評価した場合は「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」、マグニチュード 7.0 以上又はゆっくりすべりと評価した場合は「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されます。

「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒又は注意）」が発表された場合は、大規模地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された状態であり、日常生活を行いつつ、日頃からの地震への備えの再確認等、個々の状況に応じて、一定期間、地震発生に注意した行動をとることが重要となります。